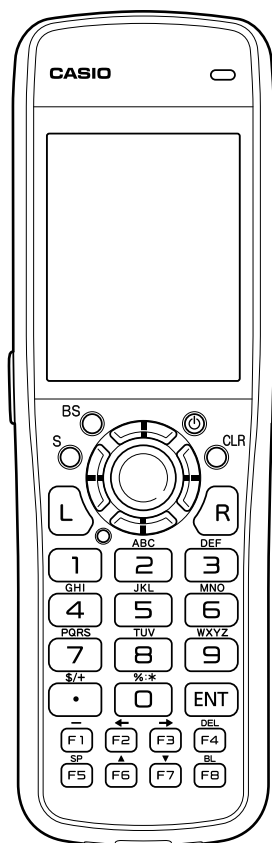


CASIO®

ハンディターミナル DT-970シリーズ

取扱説明書



ご使用の前に「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。

登録商標について



Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc., U.S.A が所有する登録商標で、カシオ計算機はライセンスを取得しています。

「eneloop」は、パナソニックグループの登録商標です。

適合規格について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品の使用済後の取扱いについて

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。

お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

回収申込方法は、

カシオホームページ【<https://s.casio.jp/f/10153ja/>】でご案内しております。

技適マークについて

本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として「技適マーク」が端末内で確認できるようになっています。

安全上のご注意	4
使用上のご注意	9
防水／防塵性能について	10
はじめに	11
付属品と別売品について	12
各部の名称とはたらき	13
本体(DT-970M50/M51)	13
LANクレードル(HA-N62IO)／	
USBクレードル(HA-N60IO)	16
電池の入れかた／外しかた	18
メイン電池の設定のしかた	19
メイン電池の入れかた	19
バックアップ電池の入れかた	20
バックアップ電池の外しかた	20
microSDカードの取り扱い	21
取り付け	21
取り外し	22
データ通信について	23
赤外線通信	23
Bluetooth®通信	24
リセットのしかた	25
警告ラベルについて	26
DT-970の仕様	27
USBクレードル(HA-N60IO)の電源の	
取り付けかたと接続	29
USBクレードル(HA-N60IO)の仕様	30
USBクレードル(HA-E60IO)の電源の	
取り付けかたと接続	31
LANクレードル(HA-N62IO)の電源の	
取り付けかたと接続	32
LANクレードル(HA-N62IO)の仕様	35
レーザー発光幅調整方法について	36

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ・ ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止



記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)



プラグを抜く



記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

使用上のご注意

警告



■ 分解・改造しないでください

- 本機を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。また、高温になる部分がありやけどの原因となります。



■ 異常状態で使用しないでください

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電池を取り外してください。購入先またはカシオテクノ・PAリペアセンターにご連絡ください。



■ 異物が中に入ったり、破損したときは

- 万一、異物が本機の内部に入ったり、破損した場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PAリペアセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■ 水などがかからないようにしてください

- DT-970は防水仕様ですが、オプションのクレードル等は防水仕様ではありませんので、水などがかからないようにしてください。
また、DT-970を濡れた状態で装着しないでください。水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。



■ レーザ光をのぞき込まないでください

- 本機は、レーザ光でスキャンします。
レーザ光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。



■ 引火性ガスが発生する場所では

- ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にハンディターミナルの電源をお切りください。ガスに引火するおそれがあります。



■ 火中に投入しないでください

- 本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

注意



■ 異物が入らないようにしてください

- 内部に金属物や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。



■ 設置場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 炎天下の車中に長時間放置しないでください。



■ 本機の上に重いものを置かないでください

- 重いものを置くと、置いたものがバランスをくずして倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



■ 表示画面の取り扱いについて

- 画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
 - ・ 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
 - ・ 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

無線通信機能の取り扱いについて

警告



注意

■ 他の電子機器への干渉について(無線機能を使用する場合)

- 病院内や医療用電気機器のある場所での使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。特に手術室、集中治療室、冠動脈疾患監視病室や特に医療機関側が本機の使用を禁止した区域では、本機の無線通信機能をOFFにするか本製品の電源を切ってください。
電波により医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります。
- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるため、無線通信機能をOFFにするか本製品の電源を切ってください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 各航空会社では、航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器、電子機器の使用を禁止しております。航空機内では無線通信機能をOFFにしてください。電子機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

注意



注意

■ 他の電子機器への干渉について(無線機能を使用する場合)

- 本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。
使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
 - その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、「修理に関する窓口」に記載されている情報機器コールセンターまでお問い合わせください。

2.4 FH1

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

充電池について

注意



注意

- 充電池はパナソニック社製の単三形eneloopをご使用ください。
これ以外の充電池は使用しないでください。
- 充電池の充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。
- 充電池をDT-970にセットしたままでは充電はできません。
- eneloopおよび充電器を使用する場合は、eneloopおよび充電器の取扱説明書をお読みいただき正しくお使いください。

アルカリ乾電池について

危険



注意

- 電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。
 - ・ 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す
 - ・ ただちに医師の診療を受ける
- そのままにしておくとし明の原因となります。

警告



禁止

- 電池は使いかたを誤ると、液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - ・ 分解、改造、傷つけない、ショートさせない
 - ・ 加熱しない、火の中に投入しない
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - ・ 種類の違う電池を混ぜて使用しない
 - ・ アルカリ乾電池を充電しない
 - ・ 電池を落下させない、強い衝撃を与えない
 - ・ 保管、廃棄するときはテープなどで端子部を絶縁し、ショートさせない



注意

- 極性（＋と－の向き）に注意して正しくいれてください。
- 間違ったタイプの電池を使用すると爆発の危険があります。

注意



注意

- 電池は使いかたを誤ると、液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - ・ 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する
 - ・ 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく
 - ・ 電池を水などで濡らさない

コイン型リチウム電池について

警告



禁止

- コイン型リチウム電池は使いかたを誤ると、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - ・ 分解、改造、傷つけない、ショートさせない
 - ・ コイン型リチウム電池は充電しない
 - ・ 加熱しない、火の中に投入しない
 - ・ 極性（＋と－の向き）に注意して正しくいれる
 - ・ 保管、廃棄するときはテープなどで端子部を絶縁し、ショートさせない
 - ・ 電池を落下させない、強い衝撃を与えない

注意



注意

- コイン型リチウム電池は使いかたを誤ると、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - ・ 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する
 - ・ 電池を水などで濡らさない

AC電源の使用について

**警告**

**禁止**

- AC電源は使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - ・ 表示された電源電圧以外では使用しない
 - ・ タコ足配線はしない
 - ・ 傷つけない、破損させない
 - ・ 分解しない、改造しない
 - ・ 電源コードに重いものをのせない、加熱しない
 - ・ 電源コードを無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない
 - ・ 電源コード、ACアダプタの清掃には洗剤は使用しない

**注意**

- 電源コードが傷んだまま(芯線の露出、断線など)使用すると火災、感電の原因となりますので、ただちに使用をやめて購入先またはカシオテクノ・PAリペアセンターに修理をご依頼ください。

**注意**

**禁止**

- AC電源は使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - ・ 必ず専用ACアダプタを使用する
 - ・ ストープなどの熱器具に近づけない
 - ・ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
必ずプラグを持って抜く
 - ・ 濡れた手で電源プラグに触れない
 - ・ 電源コードは必ずACアダプタに付属のものを使用する

ACアダプタについて

**注意**

**注意**

- ケース表面が、ある程度の熱を出すので、注意してください。

**注意**

- 感電に、注意してください。

**プラグを抜く**

- AC電源は使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のときはAC電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・ 清掃時
 - ・ 使用後
 - ・ 長期間ご使用にならないとき
 - ・ 移動させるとき(電源コードが引っ張られ傷つきます)

重要なデータは控えをとっておいてください

**注意**

**注意**

- 本機を使用したことおよび故障／修理や電池消耗などにより、データが消えたり、変化したことによって生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社ではその責任を負えません。あらかじめご了承ください。
- 本機は、電子メモリを使用しているため、電池が消耗したまま放置したり、電池交換の仕方を誤ったりして一定の電源が供給できなくなると、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。

■ 使用上のご注意

本機は精密機器です。使いかたを誤ったり乱暴に扱うと、データが正常に保存できなくなったり故障することがあります。次の注意をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。

● 電池が消耗した状態で使い続けしないでください。

データが消えたり変化することがあります。電池が消耗したら、すぐに電池を交換してください。

● 消耗した電池を入れたまま、長時間放置しないでください。

電池が液漏れすることがあります。液漏れは本機の故障、破損の原因になることがあります。

● 各機種の使用温度の範囲内でご使用ください。

範囲外で使用すると故障の原因となります。

● 次のような場所での使用は避けてください。

本機の故障、破損の原因になります。

- ・ 静電気が発生しやすいところ
- ・ 極端に高温または低温のところ
- ・ 湿度の高いところ
- ・ 急激な温度変化が起こるところ
- ・ ほこりの多いところ

● DT-970は防水性能を有しておりますが、次の点に十分ご注意の上でご使用ください。

- ・ 多量の雨や水滴がついたときは、乾いた布などで十分に拭き取ってください。
- ・ 雨中で長時間使用しないでください。
- ・ 電池カバーやコネクタカバーを確実に閉めてご使用ください。
- ・ 雨中で画面やキーを強く押さないでください。

● 本機の清掃にシンナー、ベンジン、化粧品などの揮発性の薬剤を使わないでください。

本機が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。布で強く擦ると表示部に傷がつく場合があります。

● 給電端子・データ通信端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。

汚れていると接触不良の原因となる場合があります。

● 薬品類に注意してください。

シンナー、ガソリン、灯油、各種溶剤、油脂、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類などが付着すると樹脂ケース、カバーや端子などに変色や破損を生ずることがありますので、ご注意ください。

■ 防水／防塵性能について

DT-970シリーズは、防水／防塵性能を備えています。

- ・ 防水性能：IEC規格で定めるIPX7等級(常温で水道水、かつ静水の水深1mの所に30分間放置)相当の性能を有します。
- ・ 防塵性能：IEC規格で定めるIP6X等級相当の性能を有します。

IP (Ingress Protection) は、IEC (International Electrotechnical Commissionの略)の60529に記載された電気製品の防滴・防塵のための基準です。IECは、国立電気工学の委員会(IEC National Committees)をすべて含む標準化のための世界的な組織です。

■ 重要

本製品の防水／防塵性能は、当社試験方法によるものです。また、本性能は出荷時(お客様への到着時)のものであり、ご使用中のユーザー環境を含めて保証するものではありません。万が一、ご使用中に浸水が発生しても保証の対象とはしておりませんので、雨中でのご使用等に関しましては、他の電気製品同様に、十分ご注意ください。

● 使用上のご注意

- ・ 電池カバーおよびUSBポートカバーと、その接触面に、ゴミ、砂などの異物が付着していないことを確認し、異物が付着している場合は清潔で乾燥した柔らかい布で取り除いてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個等)がわずかでもはさまると浸水の原因になります。
- ・ 電池カバーおよびUSBポートカバーの防水パッキンにひび割れ、キズ等がないことを確認してください。
- ・ 電池カバーのロックスイッチは、カチッと音がするまでしっかり閉じてください。
- ・ 水辺や潮風のあたる場所での電池カバーおよびUSBポートカバーの開け閉め、および濡れた手での開け閉めは避けてください。
- ・ 本製品を落したり、指定された温度範囲外に放置しないでください。防水性能が劣化します。

● その他のご注意

- ・ 本製品の付属品、オプション品は、防水性能はありません。
- ・ 本製品に極度な衝撃が加わると、防水性能を保てない場合があります。
- ・ 取り扱い上の不注意により、万一、水濡れ事故を起こした場合、内部機材(記録メディアなど)の損害、記録内容、および記録に要した諸費用などの補償はご容赦願います。
- ・ カシオ計算機は、水濡れによって発生する事故につき、その他一切の責任を負いかねます。

- 本書の内容に関しては、将来仕様改良などにより予告なしに変更することがあります。
- 本書の使用による損害および不利益などにつきましては弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書では、本機のプログラミング方法、ダウンロード方法などは記載いたしておりませんので、ダウンロードなどに関しては、別資料をご覧ください。

保証およびサービスについて

- 保証書は製品に添付しておりますので、記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。保証書に「品名」「保証期間(購入日)」「購入先名」などの所定事項が記入されていないと無効となり、無償修理などを受けることができません。もし記入されていないときはすぐにお買い上げの購入先に申し出て記入してください。
- 万一故障した場合は機種名およびお買い上げ日と故障内容をお買い上げの購入先までご連絡ください。
- 安心して機械をご使用いただけるように、購入時に「保守契約」を締結されることをお勧めいたします。

付属品と別売品について

本体
DT-970M50
DT-970M51



付属品

本機をはじめてお使いになる前に、箱の中身を確認してください。

- アルカリ単三形乾電池 2本
- コイン形リチウム電池 1個
- ハンドストラップ 1本
- 取扱説明書
- 保証書

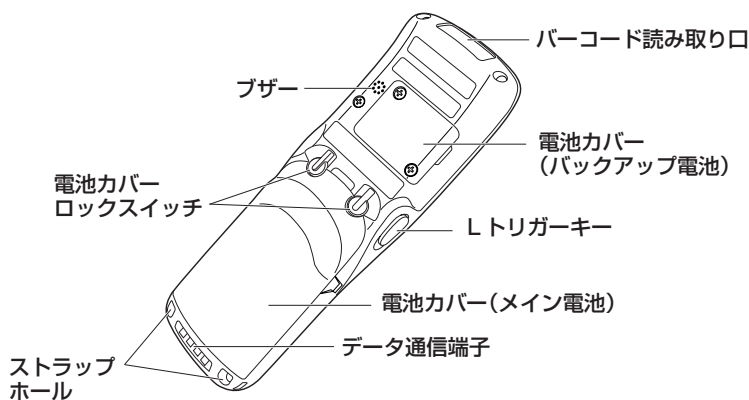
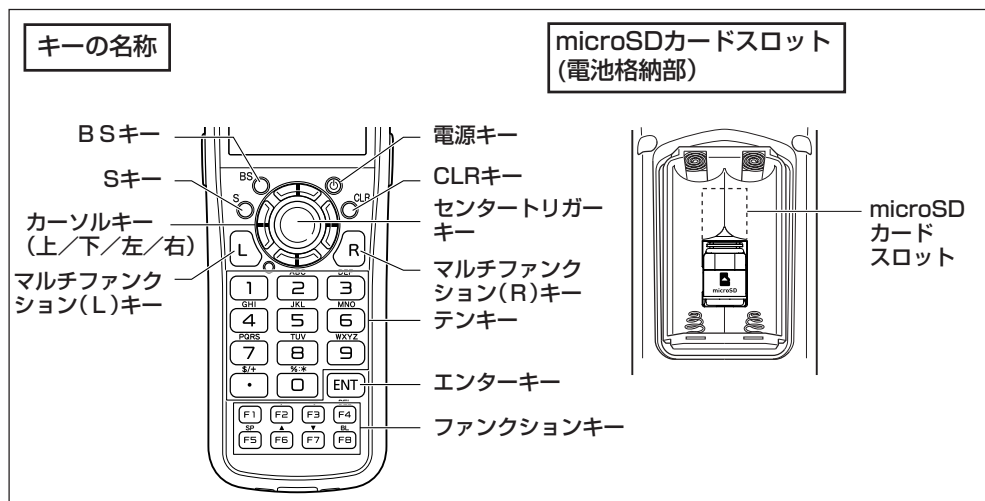
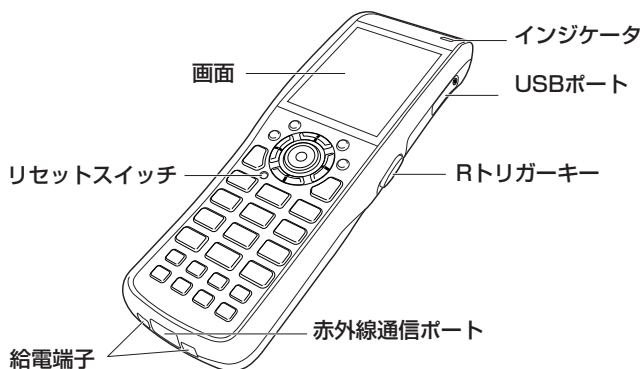
別売品

- USBクレードル HA-N60IO
- LANクレードル HA-N62IO
- 接触読みアタッチメント HA-N50BN5
- USBケーブル(本体-PC接続用)HA-N81USBC
- USBケーブル(クレードル-PC接続用)
DT-380USB-A
- ACアダプタ(LANクレードル用)AD-S42120C
- USBクレードル HA-E60IO
- ACアダプタ(HA-E60IO用)AD-S15050B
- クレードルアタッチメント(HA-E60IO用)
HA-N64AT

■ 各部の名称とはたらき

本体(DT-970M50/M51)

イラストはDT-970M51です

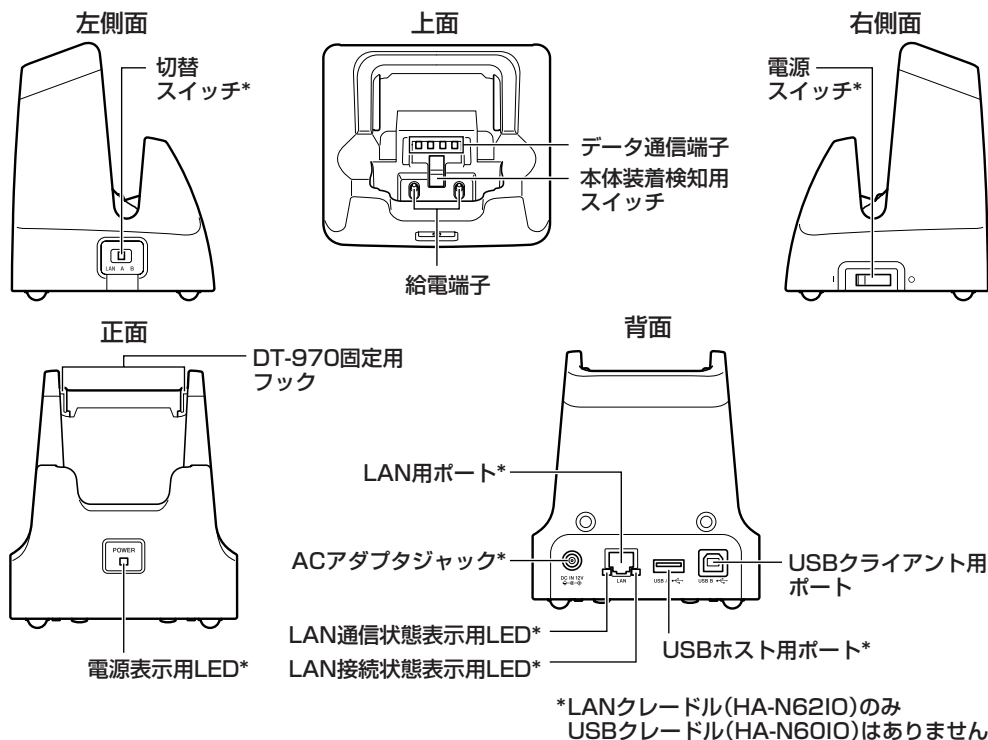


バーコード読み取り口	この窓からレーザー光が照射され、バーコードを読み取ります。
インジケータ	3色LED(赤、緑、青)。動作状態・バーコードの読み取り確認を表示します。 緑色点灯：バーコード読み取り正常。 表示点灯仕様はアプリケーションによって異なります。
画面	プログラム実行時などにその内容を表示する液晶ディスプレイです。
Lトリガーキー	バーコード読み取り操作キーです。
Rトリガーキー	バーコード読み取り操作キーです。
カーソルキー	パソコンの上下左右キーと同等の働きをします。
キー	CLRキー：入力をキャンセルするキーです。 電源キー： 電源をON／OFFするキーです。 BSキー：カーソルの左の文字を削除するキーです。 Sキー：文字入力モードと数値入力モードの切り替えキーです。 LCD上に“S”が点灯しているときは文字入力モード、消灯しているときは数値入力モードです(“S”の表示がONに設定されている場合) “S”の表示／非表示は、アプリケーションで設定することができます。 マルチファンクションキー(L/R)： 任意の機能を設定することが可能なキーです。 テンキー： 数値入力モードと文字入力モードでキーの機能が変わります。 数値入力モード：0～9・小数点を入力します。 文字入力モード：英字・記号を入力します。 エンターキー： 入力確定キーです。 ファンクションキー： F1(－)：マイナスの入力 F2(←)：カーソルの移動 F3(→)：カーソルの移動 F4(DEL)：カーソル位置の文字の削除 F5(SP)：スペース入力 F6(▲)：画面のコントラストを濃くする F7(▼)：画面のコントラストを薄くする F8(BL)：バックライト及びキー照光のON／OFF

リセットスイッチ	リセットするときに押します。
センタートリガーキー	バーコード読み取り操作キーです。
USBポート	別売のUSBケーブル(HA-N81USBC)を接続します。
ブザー	操作した確認音などを発します。
電池カバー(バックアップ電池)	カバーを開けて、メモリバックアップ用のリチウム電池を装着します。
電池カバーロックスイッチ	主電池カバーがはずれないようにロックするスイッチです。
電池カバー(メイン電池)	カバーを開けて、メイン電池を装着します。
ストラップホール	ハンドストラップを取り付けます。
データ通信端子	クレードルとの通信に使います。
給電端子	クレードルからの給電に使います。
赤外線通信ポート	非接触型赤外線通信部です。もう1台のDT-970、USBクレードル(HA-E60IO)との通信に使用します。

LANクレードル(HA-N62IO)／USBクレードル(HA-N60IO)

イラストはLANクレードル(HA-N62IO)です



使用上のご注意

- データ通信端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。
汚れていたり埃が付着していると接続不良の原因となる場合があります。

USBクライアント用ポート	USBケーブル(DT-380USB-A)を使ってパソコンへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップロード)を行います。PCに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。
USBホスト用ポート	対応するUSB周辺機器との接続に使用します。
電源スイッチ	電源をON／OFFするスイッチです。
切替スイッチ	USBとLANの切替えを行うスイッチです。 LAN：LAN A：USBホスト B：USBクライアント
LAN接続状態表示用LED	LANの接続状態を表示します。 消灯：LANケーブルが正しく接続されていません。 緑色点灯：LANケーブルが正しく接続されています。
LAN通信状態表示用LED	LANの稼動状態を表示します。 消灯：通信していません。 緑色点滅：通信中です。
LAN用ポート	LANケーブルを使ってパソコンやHUBへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップロード)を行います。DT-970Iに専用のドライバをインストールする必要があります。
ACアダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
本体装着検知用スイッチ	DT-970が正しくセットされていることを検知するスイッチです。
給電端子	DT-970へ電源を供給する端子です。
データ通信端子	データ通信を行う端子です。
電源表示用LED	電源の状態、DT-970の装着状態を表示します。 赤色点灯：電源ON 緑色点灯：DT-970が正常に装着されています。
DT-970固定用フック	DT-970を固定します。

■ 電池の入れかた／外しかた

本機では2種類の電池を使います。

本機の動作に使用するメイン電池とメモリ保護に使用するバックアップ電池があります。

メイン電池には、アルカリ単三形乾電池または満充電にした単三形充電電池(eneloop)を使います。

充電電池をご使用になる場合は、設定の変更が必要です(下記「メイン電池の設定のしかた」参照)。

バックアップ電池には、リチウム電池(CR2032)を使います。

画面に電池消耗を示すアイコンやメッセージが表示されたときは、すみやかに電池を交換してください。

■ 使用上のご注意

- ・メイン電池を外している間、バックアップ電池は消耗します。
メイン電池を外している時間が長いほど、バックアップ電池の消耗が激しくなります。
バックアップ電池の消耗を防ぐために、下記の運用をお願い致します。
 - 電池交換時には、速やかに新品の乾電池または満充電にした充電電池を装着してください。
 - 充電電池(eneloop)を充電のため外す場合は、他の満充電にした充電電池を装着してください。
- ・メイン電池は動作電源とバックアップ電源兼用、バックアップ電池はバックアップ電源となっていますので、両方の電池を同時に外さないでください。両方同時に外したり、メイン電池(またはバックアップ電池)がローバッテリー状態でバックアップ電池(またはメイン電池)を外すと、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください(別売のクレードルを利用してパソコンにデータを転送するなど)。
- ・電池交換は、必ず電源をOFFにしてから行ってください。
- ・メイン電池は、必ず2本とも新品のアルカリ単三形乾電池または満充電にした単三形充電電池(eneloop)に交換してください。指定以外の電池を使用したり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると、電池寿命が著しく短くなったり、誤動作を起こすことがあります。
- ・交換用リチウム電池は、必ずCR2032をお使いください。

メイン電池の設定のしかた

メイン電池は、乾電池または充電電池を選ぶことができます。

工場出荷時は、「カンデンチ」に設定されています。

充電電池(eneloop)をご使用になる場合には、設定変更が必要です。以下の順に選択してください。

■電池設定画面

システムメニュー→カンキョウ→デンチセッテイ→デンチタイプ

また、電池が交換された(電池が一旦外された等を含む)ことを本機が検出した場合、電池設定画面が自動的に表示されます。

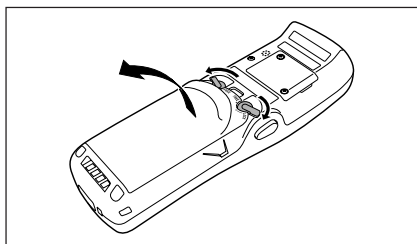
電池設定画面の自動表示を有効にするか否かは変更することができます。以下の順に選択してください。

■電池設定画面の自動表示

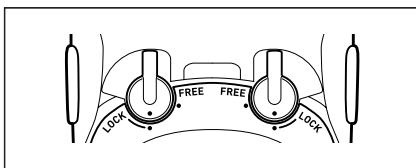
システムメニュー→カンキョウ→デンチセッテイ→セッテイモード

メイン電池の入れかた

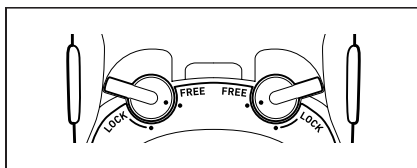
- 1 電池カバーロックスイッチを「FREE」の位置に回転させ、電池カバーを取り外します。



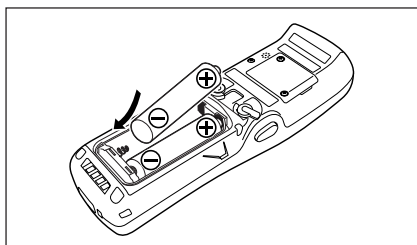
ロック状態



フリー状態



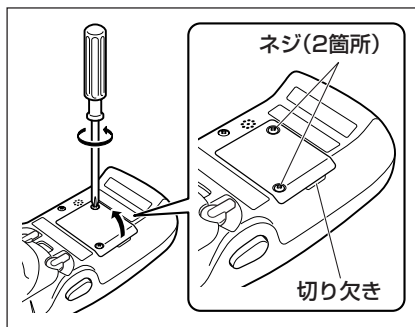
- 2 極性(+-)に注意して電池を入れます。



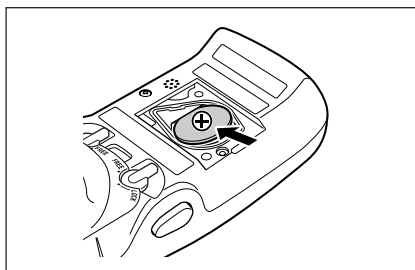
- 3 電池カバーを元に戻し、電池カバーロックスイッチを「LOCK」の位置に戻します。

バックアップ電池の入れかた

- 1 2箇所のネジをゆるめ、切り欠きに指をかけて電池カバーを外します。



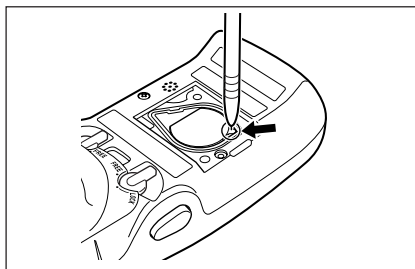
- 2 矢印の方向から極性(＋)に注意して電池を入れセットします。



- 3 電池カバーを元に戻し、2箇所のネジを締めます。

バックアップ電池の外しかた

- 1 図のようにボールペンなどの先の細いもので電池を取り外します。



■ microSDカードの取り扱い

本機はmicroSDカードに対応しています。

microSDカードスロットは電池格納部の奥にありますので、取り付け・取り外しの際は、メイン電池を取り出してから行ってください。

電池の取り付け・取り外しはP.18～19を参照してください。

microSDカードの装着(交換)は次の手順で行ってください。

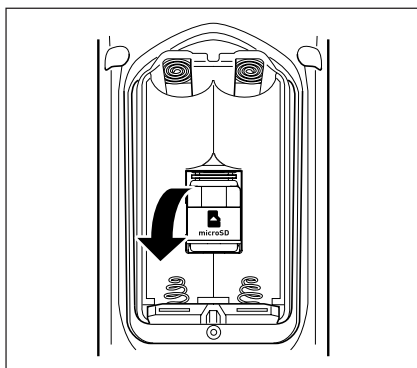
取り付け

- 1 電源がOFFになっていることを確認します。

電源が入っていたら、電源キーを押して必ずOFFにしてください。

- 2 電池を取り出します。

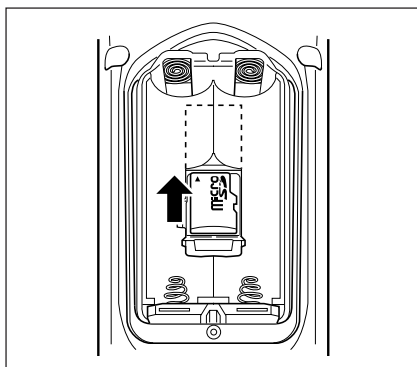
- 3 microSDカードカバーを開けます。



- 4 カードの表側(文字面)を上にしてセットし、すべらせるようにして奥にあるスロットへ正しく合わせて差し込みます。

- ロックされる位置まで確実に差し込んでください。
- カードを斜めに挿さないでください。

- 5 microSDカードカバーを閉じ、電池を取り付けます。



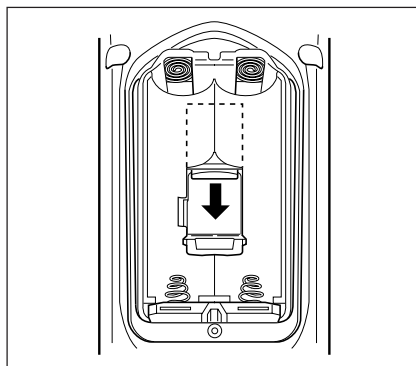
取り外し

1 電源がOFFになっていることを確認します。

電源が入っていたら、電源キーを押して必ずOFFにしてください。

2 電池を取り出しmicroSDカードカバーを開けます。

3 図のように突起部分を指先にひっかけてカードを引き抜きます。



4 microSDカードカバーを閉じ、電池を取り付けます。

使用上のご注意

- ・カードには表と裏があり、スロットへ挿入する方向も決まっています。間違った向きに無理に挿入すると、コネクタやスロットを破損するおそれがあります。挿入の際は、ご注意ください。
- ・カードへの書き込み、読み込み中は電源を切ったりカードを取り出したりしないでください。カードや記憶データを破損するおそれがあります。
- ・カードを落として破損したり紛失したりしないようにご注意ください。

■ データ通信について

赤外線通信

赤外線通信は本体間の通信などでお使いになれます。

通信を行うときには、本機の赤外線通信ポートと他の機器の赤外線通信ポートが真っすぐに向き合うようにしてください。

0(接触)～30cm(本体間の通信は最大20cm)以内で通信できます。

使用上のご注意

- 本機の赤外線通信では、高感度の通信素子を使用しております。
- 通信を良好に行うために、通信中に本機の近くで電波を発生させる機器(例えば、携帯電話等)のご使用は避けてください。
- これらの機器をご使用になる場合は本機から距離を離して(携帯電話の場合は30cm以上離して)ご使用ください。

Bluetooth®通信

Bluetooth®通信は本体間の通信などでお使いになれます。

相手の機器と5m以内の距離(障害物のない状態)で通信することができます。

使用上のご注意

良好な通信を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth®機器とは、見通し距離約3m以内で通信してください。周囲の環境(障害物)によっては通信可能距離は短くなります。
- 他の機器(電気製品／AV機器／OA機器／デジタルコードレス電話機／ファックスなど)から2m以上離れて通信してください(特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください)。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に通信できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります(UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります)。
- 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、通信場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。
- ワイヤレスLANとの電波干渉について
Bluetooth®通信とワイヤレスLANは同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、ワイヤレスLANを搭載した機器の周辺で本機を使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - ワイヤレスLANを搭載した機器からは、10m以上離れて使用してください。
 - 10m以内で使用する場合は、本機またはワイヤレスLANを搭載した機器の一方の電源を切ってください。

■ リセットのしかた

「リセット」はパソコンでの「再起動」に相当します。リセットを実行すると、入力中や編集などで、まだ保存していなかったデータや各種設定は消去されます。

誤操作や何らかの異常により、本機が正常に動作しなくなった場合は、リセット操作を行う必要があります。

本機表面のリセットスイッチをシャープペンシル(芯を出さない状態)など先の細い棒のようなもので押します。

リセット処理が開始されます。

※ リセットボタンを押すものに、つまようじや鉛筆など、先端の折れやすいものを使わないでください。故障の原因になります。

警告ラベルについて

イラストはDT-970M51です
貼付位置はモデルにより異なります

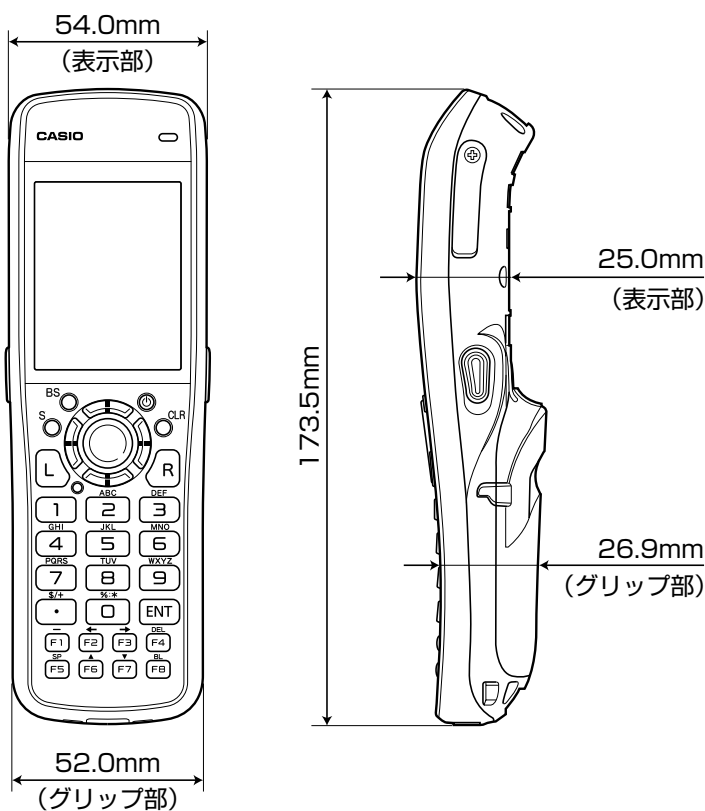


- このラベルはJIS C 6802 に準じた、クラス2 レーザー製品の警告、注意ラベルです。
- クラス2 レーザー光は瞬間露光ですが、ビーム光を直接のぞき込むことは、絶対に避けてください。
- 本書に規定された内容以外の手順による取り扱いは危険ですので絶対に行わないでください。
- レーザー光は最大出力1mW 未満、波長650nm です。

DT-970の仕様

型式	: DT-970M50/M51	
CPU	: 32ビットCPU	
メモリ	: RAM 8MB、フラッシュROM 32MB(ユーザー領域: 約28MB)	
表示	: 2.3inch、128×128ドット	
レーザースキャナ部	読み取りコード	: UPC-A/UPC-E/EAN8(JAN8)/EAN13(JAN13)/Codabar(NW-7)/Code39/Interleaved2of5(ITF)/MSI/Industrial2of5/Code93/Code128(GS1-128(EAN128))/IATA/GS1 DataBarOmnidirectional(RSS-14)/GS1 DataBarLimited(RSS Limited)/DataBar Expanded(RSS Expanded)/GS1DataBarStacked(RSS-14 Stacked)/GS1DataBar Expanded Stacked(RSS Expanded Stacked)/GS1 DataBar Truncated(RSS-14 Truncated)/GS1 DataBar StackedOmnidirectional(RSS-14 Stacked)
	読み取り距離	: DT-970M51: 約40 - 550mm以内 DT-970M50: 約45 - 550mm以内
赤外線通信ポート	インターフェース	: IrDA Ver.1.0準拠
	同期方式	: 調歩同期, フレーム同期
	伝送速度	: 2,400bps/9,600bps/19,200bps/38,400bps/57,600bps/115,200bps
Bluetooth®通信	通信方式	: Bluetooth® Ver.2.1+EDR (Class2)
	通信距離	: 約5m(電波の状態や環境により変化します)
	出力	: 最大4dBm(PowerClass2)
microSDメモリー		
カードスロット	: SDHCメモリーカード対応	
電源	メイン電源用	: 単三形アルカリ乾電池(LR6) 2個 または、単三形eneloop 2個
	バックアップ電源用	: リチウム電池(CR2032) 1個
消費電力	: DC3V/0.4A	
電池寿命	メイン電池	: 約175時間(同梱の単三形アルカリ乾電池を使用し常温でキー待ち、演算、読み取りが20:1:1の場合)
	バックアップ電池	: 20日(メモリ(RAM)、時計バックアップ)
動作温度	: -20~50℃	
動作湿度	: 10~80%RH(結露なきこと)	
防水防塵性能	: JIS防水形準拠、IP67準拠	
大きさ	: 次のページの「外形寸法図」をご覧ください。	
質量	: 約215g(単三形アルカリ乾電池含む)	
バイブレータ機能	: ソフトウェアの設定により使用可	

<外形寸法図>



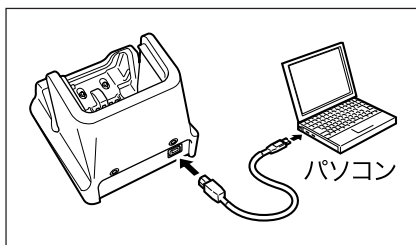
■ USBクレードル(HA-N6010)の電源の取り付けかたと接続

別売のUSBケーブル(DT-380USB-A)を使用してUSBクレードルとパソコンを接続するとパソコンから電源を取ることができます。

DT-970とデータ通信する前にUSBクレードルとUSBケーブルを接続してください。

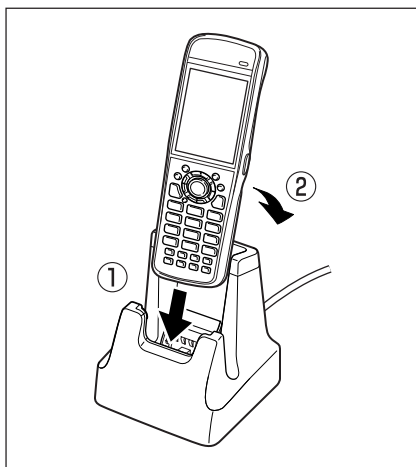
各部の名称とはたらきはP.16、17をご覧ください。

- 1 USBケーブル(DT-380USB-A)をクレードル背面にあるUSBクライアントへ接続しパソコンに接続します。



- 2 DT-970底面の端子とクレードルの給電端子を合わせるようにしてから押し込み(①)、クレードルの固定用フックにDT-970の固定部(くぼみ)を合わせて装着します(②)。

DT-970をクレードルから外すときは、DT-970を前方に傾けて固定用フックから固定部(くぼみ)を外してから引き抜いてください。



使用上のご注意

- ・通信端子、給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり給電、通信機能が低下します。安全のためUSBケーブルを抜いてから、通信端子、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- ・クレードルの給電端子は絶対にショートさせないでください。
ショートさせると故障の原因となります。
- ・USBインターフェースでの通信中に振動や衝撃を与えないでください。
通信が切れる原因となります。
- ・DT-970を装着する際は、しっかりと装着してください。正しく装着されないと、給電や通信が行えません。
- ・使用しないポートには、必ずキャップを取り付けてください。キャップを外したまま使用すると故障の原因となります。
- ・DT-970がクレードルに装着されている状態のままDT-970を持ち上げないでください。クレードルが不意に落下してけがや故障の原因となります。

USBクレードル(HA-N60IO)の仕様

1. USB仕様

規格 : USB Ver2.0 Full speed

伝送速度 : 12Mbps(MAX)

2. 電源部

本体(DT-970)出力 : DC5V 0.5A(MAX)

3. 外形寸法・質量

外形寸法 : 約94(幅)×84(奥行)×107(高さ)mm

質量 : 約250g

4. 動作環境

動作温度 : 0～40℃

動作湿度 : 30～80%RH(結露なきこと)

■ USBクレードル(HA-E60IO)の電源の取り付けかたと接続

ご使用の前に別売のクレードルアタッチメント(HA-N64AT)を取り付けてください。

1 USBクレードルの電源スイッチがOFFであることを確認してから、背面にあるACアダプタジャックへ別売のACアダプタ(AD-S15050B)を差し込みます。

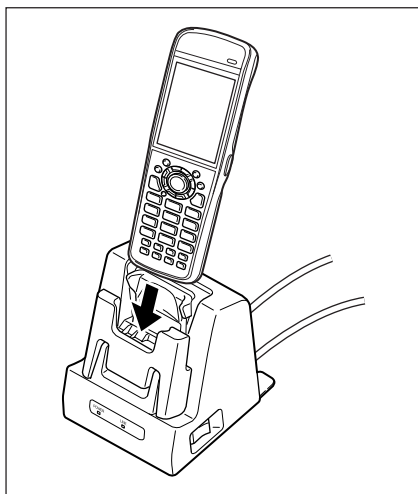
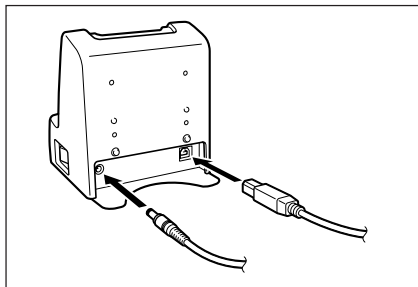
2 電源コードをACアダプタに接続した後、電源コードのプラグをコンセントに接続します。

3 USBケーブル(DT-380USB-A)をUSBクレードル背面にあるUSBポートへ接続し、パソコンに接続します。

4 DT-970底面の赤外線インタフェースとUSBクレードルの赤外線インタフェースを合わせて装着します。

5 電源スイッチをONにします。

DT-970が正しく装着されるとUSBクレードル前面の電源表示用LEDが緑に点灯します。



使用上のご注意

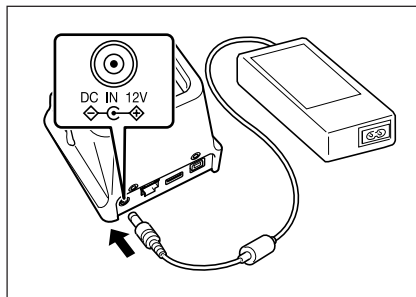
- ・DT-970への電源供給はありません。
- ・クレードル(HA-E60IO)単体ではDT-970を装着することは出来ません。必ず別売のクレードルアタッチメント(HA-N64AT)を取り付けてください。
- ・DT-970にハンドストラップを取り付けている場合は、はさみ込まないように注意してセットしてください。

ハンドストラップはクレードルの側面に出してください。

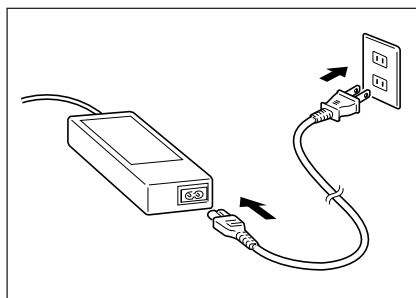
■ LANクレードル(HA-N6210)の電源の取り付けかたと接続

LANクレードルの電源は、別売のACアダプタ(AD-S42120C)を使用してください。
DT-970とデータ通信する前に必ずLANクレードルとACアダプタを接続してください。
DT-970への電源はLANクレードルから供給されます。

- 1 LANクレードルの背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。

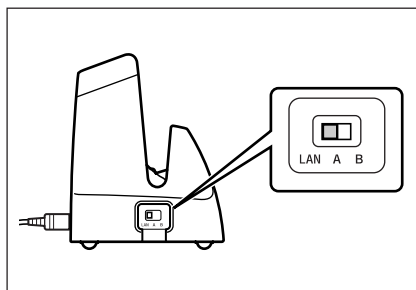


- 2 電源コードをACアダプタに接続したあと、電源コードのプラグをコンセントに接続します。



- 3 LANクレードルの左側面にある切り替えスイッチを使用するポートに合わせてセットします。

LAN用ポートを使用する場合はLAN側に、
USBクライアントを使用する場合はB側に、
USBホストを使用する場合はA側に
セットしてください。

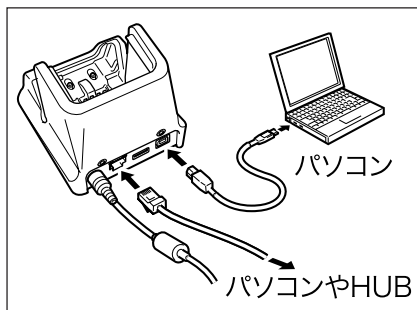


- 4 使用する前にポートに付いているキャップを取り外してください。

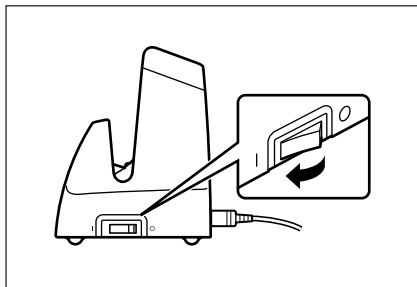
LANを使用するときは、LAN用ポートにLANケーブルを接続し、パソコンやHUBへ接続します。

USBケーブル(DT-380USB-A)をLANクレードル背面にあるUSBクライアントへ接続しパソコンに接続します。

USBホストは他のUSB周辺機器との接続に使用します。



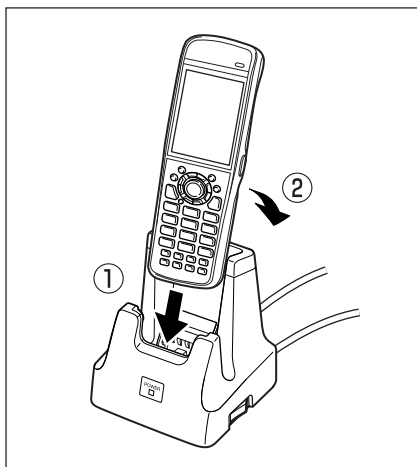
- 5 LANクレードルの右側面にある電源スイッチをONにします。LANクレードル前面の電源表示用LEDが赤色に点灯します。



- 6 DT-970底面の端子とLANクレードルの給電端子を合わせるようにしてから押し込み(①)、LANクレードルの固定用フックにDT-970の固定部(くぼみ)を合わせて装着します(②)。

DT-970が正しく装着されると充電が開始され、LANクレードル前面の電源表示用LEDが緑色に点灯します。

DT-970をLANクレードルから外すときは、DT-970を前方に傾けて固定用フックから固定部(くぼみ)を外してから引き抜いてください。



使用上のご注意

- LAN、USBクライアント、およびUSBホストのスイッチを切り替えるときは、必ずDT-970をLANクレードルから外してください。
- 通信端子、給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり給電、通信機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、通信端子、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- LANクレードルの給電端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。
- LAN、USBクライアント、およびUSBホストでの通信中に振動や衝撃を与えないでください。通信が切れる原因となります。
- DT-970を装着する際は、しっかりと装着し、LANクレードル前面の電源表示用LEDが緑色に点灯していることを確認してください。
正しく装着されないと、給電や通信が行えません。
- LAN、USBクライアント、およびUSBホストを同時に使用することはできません。
- 使用しないポートには、必ずキャップを取り付けてください。キャップを外したまま使用すると故障の原因となります。
- DT-970がLANクレードルに装着されている状態のままDT-970を持ち上げないでください。LANクレードルが不意に落下してけがや故障の原因となります。
- 長期間使用しない場合は、電源スイッチをOFFにしてください。

LANクレードル(HA-N62IO)の仕様

1. LAN仕様

通信方式	: IEEE 802.3準拠
メディアタイプ	: 10base-T/100base-TX自動切換

2. USB仕様

規格	: USB Ver2.0 Full speed
伝送速度	: 12Mbps(MAX)

3. 電源部

使用電源	: AD-S42120C
消費電流	: DC12V 0.3A
本体(DT-970)出力	: DC5V 0.5A(MAX)
USBホスト出力	: DC5V 0.5A(MAX)

4. ACアダプタ仕様

規格名	: AD-S42120C
入力	: AC100-240V 50/60Hz 1.2A
出力	: DC12V 3.5A

5. 外形寸法・質量

外形寸法	: 約94(幅)×84(奥行)×107(高さ)mm
質量	: 約280g

6. 動作環境

動作温度	: 0～40℃
動作湿度	: 30～80%RH(結露なきこと)



レーザー発光幅調整方法について

本機は、レーザーの発光幅を切り替えることができます。この機能を使用しているとレーザーの発光幅にずれが生じることがあります。
その場合は、次の方法で調整してください。

1 “S”キーと“.”キーを押しながら電源をON
しシステムメニューを起動します。

2 4:カンキョウ

4:バーコードセッテイ

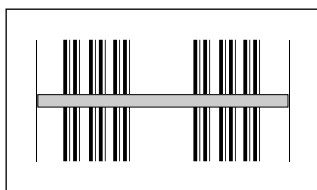
4:フレカクドチョウセイ

の順番でキーを押し、発光幅調整機能を起動
します。

3 トリガーキーを押してレーザーを発光させ発
光幅調整用バーコードに光を合わせます。

※ レーザー光を両サイドにある細いバーに合
わせます。

(例)



ブザーが鳴り、レーザー光が消えると発光
幅調整は完了です。

起動画面

OBR	キャリアレーション
トリガ	キーヲ オシテ クダサイ.
トリガ	: カイン
CLR	: シュウリョウ

調整画面

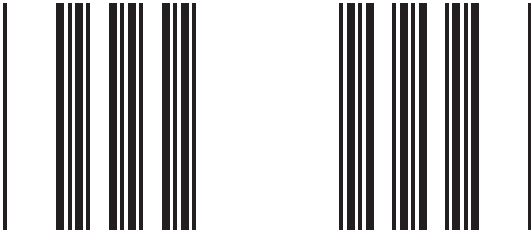
OBR	キャリアレーション
ジツコウ	チュウ.
トリガ	: テイシ

完了画面

OBR	キャリアレーション
シュウリョウ	シマシタ
カンリョウ	
トリガ	: リトライ
CLR	: シュウリョウ

このページを等倍(縮小しない)で印刷して、発光幅調整を行ってください。

■発光幅調整用バーコード



修理に関する窓口

修理の相談窓口

- 修理依頼前の故障・修理・機能に関するご質問に電話でお答えします。

情報機器コールセンター



0120-002906

携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日

AM9:00～PM5:30

（日・祝日、弊社指定休業日は除く）

修理品受付窓口

- 修理依頼後の返却予定日、修理料金、故障内容などの問い合わせにつきましては下記窓口にお問い合わせください。

カシオPAリペアセンター



0120-655336

携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間：月曜日～金曜日

AM9:00～PM5:30

（土・日・祝日、弊社指定休業日は除く）

住 所：〒208-0023

東京都武蔵村山市伊奈平
3-28-2

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2